

評価項目	重点目標	重点目標に関する取組と指標 ○：取組 ★：指標	第一次自己評価	学校関係者評価 実施日：平成26年3月11日	最終自己評価 (第一次自己評価からの変更点や改善方策)
<p>確かな学力の育成 (教育委員会設定項目)</p>	<p>自ら知識を身につけ、活用する生徒の育成 【本校の今日指す生徒像1】 【今年度の重点課題1】 自ら学ぶ姿勢の育成と基礎基本の定着</p>	<p>○授業の質的向上を図る ★学習指導は授業が第一。「チャイムで始まりチャイムで終わる」50分授業の充実を図ることができたか。 ★生徒による授業アンケートを活用し、生徒と教師が共に良い授業を作り上げることができたか。 ○個別指導の充実を図る ★英語・数学の習熟度別少人数指導をはじめ、各教科の特性を生かした指導方法で、生徒一人一人に対し、きめ細かな指導を行ったか。 ★すべての生徒に基礎的・基本的内容の定着を図るため、定期考査前や放課後等の補充教室を充実させることができたか。 ○家庭学習を習慣化する ★家庭学習の仕方を指導して、自ら予習復習ができるようにしたか。 ★ねらいを明確にした課題を出すことで、家庭学習が習慣化したか。</p>	<p>○授業の質的向上 ★教員が始業時に教室にいることを実践してきた。その結果、概ね良好であった。 ★授業アンケートを活用した授業改善にばらつきがあった。 ○個別指導の充実を図る ★数学の習熟度別指導は学年が上がるほど有効であったが、英語の習熟度別指導は課題があり実施方法を再考する必要がある。 ★定期考査前の補充教室には積極的に参加する生徒が増えた。 ○家庭学習を習慣化する ★家庭学習の仕方の指導はしたが、その確認をしていないので、生徒任せであった。</p>	<p>・生徒は意欲的に授業に取り組んでいる。 ・保護者の声には一部の生徒が授業に集中できない状態を危惧し、学習ルールの定着を確立することを願っている。 ・学ぶ意欲を持たせることは教師の指導力によるところが大きい。一人一人の生徒へのより細やかな目配り、学習状況の見取りを行い学ぶ意欲を持たせる指導を期待する。 ・学校全体としての取り組みは評価したい。さらに次年度に向けて生徒に何ができるように指導するか、具体的なねらいを明確にして指導力の向上を目指して欲しい。 ・授業中の机間指導、アドバイス、夏休みや定期考査前の補習授業などの取り組みが基礎基本の定着へと成果として上がっている。</p>	<p>(1) 授業改善を図る ○授業では、必ず「本時の目標」を明示し、最後はシェアリングを実施する。 ○半年かけて次年度用のシラバスを改訂する ○教務(進路指導)に「学力向上」を位置付け、学力向上・シラバスを担当する ○言語活動・ICT機器活用による生徒が活躍する授業を充実させる。 (2) 家庭学習の習慣化を図る ○家庭学習ノートを作って 1学年では毎日点検、2学年では希望者が提出、3学年では点検なしで 家庭学習の習慣をつける</p>
<p>豊かな心の育成 (教育委員会設定項目)</p>	<p>自他を尊重し、社会性と思いやりのある生徒の育成 【本校の今日指す生徒像2】 【今年度の重点課題2】 全校体制の教育活動を通して、生徒の自主性を育て、認め合う集団を作る。</p>	<p>○生徒の主体性を伸ばす ★「生徒が主体である」を総ての基本とし、二大行事である運動会、一中祭をはじめ生徒会活動における生徒の自主的活動を最大限支援し、自分を磨き、仲間と共に伸びる「善意の集団」ができたか。 ★「あいさつをする」「時間を守る」を中心に、基本的な生活習慣や集団生活における規律の習得を図り、規範意識を向上させられたか。 ○豊かな心を育てる ★新宿区人権尊重教育推進校としての取り組みを通して、自他を尊重する心や相手を思いやる心をはぐくみ、人権感覚を磨いていくことができたか。</p>	<p>○生徒の主体性を伸ばす ★運動会・一中祭での自主活動が充実してきた。さらに、生徒会のボランティア、学年ごとの、学年朝礼・実行委員会組織など生徒が前面に出る活動ができ始めてきた。 ★「あいさつ」「時間を守る」を中心に集団としての成長を図ったが、生徒全員に浸透したとは言い難い。 ○豊かな心を育てる ★教員の人権研修を継続的に行って、さらに校内研修会で「道徳」を取り上げ、前年度よりも生徒の心の深いところまで入っていく努力をした。学年によって成果に差が出ている。</p>	<p>・来校者によくあいさつをする生徒が多くなったが、自然に心からあいさつができるようになるとうよい。 ・運動会、一中祭での自主的な活動ぶりや校内外の清掃活動の取り組みは素晴らしい。 ・教師と生徒との関係が良好であることによって社会性や思いやりのある心の育成になるものと考えられる。 ・運動会の応援の練習や一中祭の合唱練習ではクラスが一丸となって、生徒は自主的によく取り組んでいるとの保護者の評価を得ている。 ・毎日の全校給食の場が集団指導として根付いてきたことが生徒同士の協力や思いやり、さらに自主性を育む場となっている。</p>	<p>(1) 行事で主体性を伸ばす ○運動会・一中祭での生徒の活動 現在の生徒の活動を継続、支援する。 ○学年宿泊行事等における実行委員による運営を徹底的に指導し、実施する。 (2) 生徒会活動を活性化させる。 ○生徒会朝礼を月1回行う ○あいさつ運動の拡充を図る。 ○月1回生徒による学年集会(学年対応) ○生徒総会の活性化 (3) 学級活動の活性化を図る ○職員会議で人権プログラムを使ったミニ研修を毎回実施する。</p>
<p>体力の向上 (教育委員会設定項目)</p>	<p>心身を鍛え、逞しく生き抜く生徒の育成 【本校の今日指す生徒像3】</p>	<p>○食育の推進 ★全校給食を通して、食の大切さ、食の楽しさ、食のマナー等を知らせながら、偏食をなくしバランスの良い食習慣の定着を図ることができたか。 ○体力の向上 ★チームティーチングで実施する体育の授業では、個々の生徒に応じた基礎体力の向上と健康維持への意識を育てることができたか。 ○安全・安心の学校づくり ★避難訓練等の安全教育や、省エネ・省資源など環境教育を推進したか。</p>	<p>○食育の推進 ★全校給食でのルールやマナーに課題があった。今年度の本校の大きな課題となっている。 ○体力の向上 ★体育の授業では個々の健康維持への意識を育てることができた。 ○安全・安心の学校づくり ★避難訓練に「通報訓練・煙体験・消火訓練」や「避難所設営訓練」などの体験を多く取り入れて、多様な訓練を行うことができた。一方、省エネ省資源への意識は啓発が足りなかった。</p>	<p>・教育環境は決して満足できるものではないが、生徒は健康的で明るく学校生活を楽しんでいる。但し、生徒たちの姿勢には体力がないと感じる。 ・体も心も鍛え、逞しい生徒に育ててほしい。</p>	<p>(1) 食育の推進 ○全校給食でのルールやマナーを徹底する。 (2) 体力の向上 ○体育の授業を中心に走力をつける。 (3) 安全・安心の学校づくり ○避難訓練には毎年「通報訓練・煙体験・消火訓練」や「避難所設営訓練」など体験を取り入れて、多様な訓練を行う。</p>

様式 1

<p>特色ある教育 (教育委員会 設定項目)</p>	<p>【本校の重点課題 3】 総合的な学習の時間 において、思考力、判断力、 表現力の伸長を図る</p>	<p>○「牛一ネオタイム」による生徒の思考力、判断力、表現力の伸長 ★各指導時間内に研究、まとめ、発表の質的向上を目指すことができたか。 ○キャリア教育の意図的、計画的、継続的实施 ★全校体制での「上級学校を知ろう」「校内ハローワーク」を中心に、各学年で発達段階に応じた指導を充実させることができたか。 ○朝読書の定着と、学校図書館の有効活用 ★朝の10分間の読書は定着したか。 ★学校図書館スタッフと連携して積極的な図書館利用が図れたか。</p>	<p>○「牛一ネオタイム」による生徒の思考力、判断力、表現力の伸長 ★牛一ネオタイムの時間数を減らして、内容を精選し、チューター制の活用や発表力の強化を図った。 ○キャリア教育の意図的、計画的継続的实施 ★全校体制でのキャリア教育に加えて、職業調べ、職場体験などを実施してきたが、検証がなく、進路指導での成果となっているか不明である。 ○朝読書の定着と、学校図書館に学校図書館の有効利用 ★朝読書の定着は学級学年によって差がある。学校図書館の環境整備が進んでいる。</p>	<p>・牛一ネオタイム(総合的な学習の時間)は生徒の自己評価では調べ学習の基本を学び、まとめる力やプレゼンテーション力が身についたと達成感が見られる。 ・学年の枠を超えた3年間を通しての学習内容は生徒同士の教え合いと学び合いの場として意義深いものである。 ・本年度は特に「プレゼンテーションの力を身に付けさせる」というねらいを明確にしたことにより生徒たちは表現力が高まっているとの評価を得ている。 ・「校内ハローワーク」「上級学校を知ろう」「職場体験学習」など地域の人材を活用し、広く地域の協力を得た活動は生徒の3年間を通してのキャリア教育として充実している。 ・図書館スタッフとの連携から読書指導の充実へと改善が図られてきた。朝読書の定着、充実へとステップアップを図ることを期待する。 ・十分とは言えない環境条件の中で救命技能認定取得の取り組みなどの防災教育が評価されている。</p>	<p>(1) 牛一ネオタイム総合的な学習の時間の充実 ○表現力・プレゼンテーション能力の育成を目標に、さらに指導を強化していく。 ○キャリア教育の継続と検証をする。 (2) 読書活動、図書館利用 ○朝の本令時刻を変更して、学級での朝読書の徹底を図る。</p>
<p>連携強化を目指す課題 (本校独自の 設定項目)</p>	<p>【本校の重点課題 4】 保護者地域とともに進める学校づくり</p>	<p>○授業公開および運動会、一中祭での十分な公開 ★各学期1回の土曜公開の新設等により、保護者、地域からの本校への理解を深めることができたか。 ○外部の意見を尊重した学校評価 ★年2回の学校評価を実施し、スピード感を持って学校改善に生かすことができたか。 ○経営支援部の活用 ★校内外の環境整備、ホームページなど学校の広報活動などができたか</p>	<p>○授業公開および運動会、一中祭での十分な公開 ★地域との連携、保護者への情報公開は適切に行われている。 ○外部の意見を尊重した学校評価 ★7月の第1回学校評価の結果を生かした改善を進めることができた。 ○経営支援部の活用 ★HPの更新は頻繁に行うことができた。経営支援部からの提案で、様々なことができた。</p>	<p>・ホームページが定期的に更新され、学校の教育活動の状況が分かると保護者や地域で良く受け止められている。 ・学校が保護者の意見にも深く耳を傾けてくれるとの感謝の声がある。 ・保護者・地域と共に生を育てる活動は定着している。このことは学校が保護者や地域から信頼を得ることによって進められることである。今後は小学校との連携をより積極的に図ることも必要である。</p>	<p>(1) 学校公開 ○学期に一度の土曜公開日の内容を改善して保護者との連携を強める。 (2) 学校評価 ○第3者評価を実施し、PDCAサイクルと改善のスピードアップを図る。 (3) 学校経営支援部の活性 ○今年度の実勢は高く評価されているので、その上に活動の拡充を図るとともに、校務軽減に取り組む。</p>